



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

第三一〇号

秋分 しゅうぶん

九月二十二日

萱葺きの屋根

道ばたのススキの穂が輝き、風に揺れるようになりました。秋の七草の一つで、尾花おばなと古くから和歌にも詠まれてきた植物です。

この日本人になじみのあるススキは、屋根材となると「萱かや」と呼ばれます。萱は特定の植物ではなく、屋根を葺くのに用いるチガヤ、スゲ、そしてススキなどイネ科の植物の総称のこと。日本で屋根に萱が葺かれるようになったのは、古墳から出土した青銅鏡の文様に描かれていることから少なくとも四世紀までさかのぼれるようです。

では、それ以前の縄文時代は何で屋根を葺いていたのでしょうか。おそらく土で葺いていたのではないかと考えられています。なぜなら当時は森林が豊かで、草原が広がっており、意外にもチガヤやススキなど萱葺きの材料となる植物が自生していなかったとされるからです。チガヤやススキなどの野原は日本列島に火山爆発が起こり、森林が焼かれ、そのあとの火山灰の土にまず生え、広がった経緯があったといえます。野原が現れたことにより、屋根が、土から萱で葺かれる変化が起こったのです。

昨年、天皇陛下の代替わりの際には、大嘗祭だいじょうさいの建物の屋根がこれまでの萱葺きから板葺きに変わり、議論がかわされました。萱葺きの材料が手に入りにくい、価格の高騰、職人の不足などが原因でした。

しかし、二十一年に一度の式年遷宮しきねんせんぐうを繰り返す伊勢神宮は、今も萱で葺かれた屋根が守られています。分厚く葺かれた萱葺きの屋根は、ヒノキ造の社殿にバランス良く、簡素な美しさを加えています。伊勢神宮は木の文化とともに、萱葺きの歴史も伝えているのです。秋、いつそう萱葺き屋根の大切さを感じられます。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 来る福招き猫まつり

新しい感染症が流行する今年、このお祭りを開催すべきかどうか大いに悩みました。しかし、このような大変な時こそ、皆様が健やかに過ごしていただけるよう、招き猫たちと一緒に祈り願いたいと考え、感染症予防の対策をとりながら開催させていただくこととしました。

病除けとされる赤色の招き猫、魔除けの招き猫、厄除けの招き猫など、全国各地から集まる、皆様の「無病息災」を願う招き猫たちにどうぞ会いに来てください。

と き／9月29日(火)～10月11日(日) 9:29～17:29(催しにより異なる)

ところ／おかげ横丁一帯

※諸事情により、内容が一部変更または中止になる場合もございます。

- 招き猫現代作家展 ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」
招き猫は、江戸末期に日本で誕生し、現在では国内外で親しまれ、個性溢れる作品として表現されるようになりました。
今回は、天野千恵美、有田ひろみ・ちゃぼ、小澤康麿、小嶋伸、ホソカワマサヒコ、松田一戯、水谷満、もりわじんの皆様に出演いただきます。
- 郷土玩具招き猫展・郷土玩具制作実演 ところ／五十鈴茶屋本店前
全国各地で伝統的に作られている郷土玩具の招き猫を集めました。
- 来る福展覧会 ところ／おかげ横丁各店
各店を巡りながら、13名の招き猫作家さんのミニ個展をお楽しみください。
- 招き猫絵付け教室 ところ／五十鈴茶屋本店前
真っ白の張子の招き猫にアイデアたっぷりの絵付けを施して、オリジナルの招き猫を作ってみませんか。
- 作り手による実演と個展 ところ／赤福別店舗
各ジャンルの作家さんが在廊。実演や体験教室を開催します。

五十鈴塾

○ 『本居宣長を巡る人々』

本居宣長は誰もが知っている国学の大家です。松阪商人として名高い小津家の生まれですが、商売に関心を持たず医師となりました。内科と小児科が専門で、小児用の薬を製造して成功し家計の足しとしたという現実的な話も残っています。

学問は主に夜におこなったそうで、国学者として次第に名声を得るようになります。

弟子の数は480人を超え、伊勢国だけではなく他の地域にも及んで、町人、農民、神官、武士、医師、僧侶などさまざまな立場の人がいました。内宮の禰宜荒木田経雅もそのひとりです。60代の頃には名古屋、京都、和歌山、大阪、美濃などに旅行し、旅先でも多くの人と交流したと記されています。さてどんな人たちがいたでしょう。

鈴好きでも知られ、駄鈴のレプリカは今の鳥根県にあった浜田藩の殿様が講義を聞く前にプレゼントしたものだそうです。学者というだけでなく多方面に活躍した宣長さんの人物像とその交友関係など、ちょっといい話をお伺いします。

と き／9月24日(木) 13:30～15:00

講師／井田 もも (本居宣長記念館学芸員)

参加費／一般1,350円 会員850円

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

つきよ 月夜 こし餡の蒸し羊羹に栗を仕込み、秋たけなわの夜、月見に興じる楽しみを表しました。

はつもみじ 初紅葉 寒天の川面に羊羹の楓を流し、粒餡を巻きました。伊勢から黄色い楓の秋便りです。

はつかり 初雁 山芋を使った薯蕷生地で白餡を包み、雁の飛ぶ姿を焼印で表現しました。